## 【直流電流増幅率(hFE)の測定によるトランジスターの良否判定】

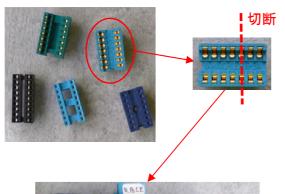
トランジスターの良否判定に直流電流増幅率(hFE)を測定する機能が付いたデジタルマルチメーター(DT830B)を使ってみました。

元々テスターに付いている円形の測定用端子では、トランジスターの足を挿入しても接触が悪いのか、全く測定値が表示されませんでした。





そこで、新たな測定端子としてケース上部にICソケットを取り付けました。 手持ちのICソケットには、いろいろな形状のものがありましたが、その中からトランジスターの足を 挿し易いものを選びました。ただし、8ピンのものは無かったので14ピンのものを切断して使いました。 ケースには、ICソケット端子と同ピッチで 1mm径の穴8個をハンドドリルで開け、ICソケットの端子を 挿入してからケースに接着しました。

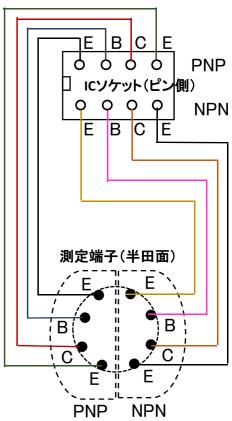


## ICソケットと測定端子の配線図









後は、裏蓋を閉め端子の表示を貼ったら改造は完了です。



[トランジスター測定端子の表示] 表面



[トランジスター測定端子の表示] 裏面



下の写真は、2SB772Lの測定状況です。



測定の前には、該当トランジスターのデータシートを ダウンロードし、種類(PNP・NPN)や足の配列などの 仕様を確認して下さい。

規格を調べるのに便利なサイトは以下にあります。 http://www.alldatasheet.jp/



hFEの値は、通常50~500が正常範囲です。

因みにダイオードチェックで異常が見つからなかった 故障トランジスターのhFEを測定したら「0.00」と表示 されたので壊れていることが分かりました。